

第2回 東北中央自動車道（相馬～米沢） 利活用促進に関する懇談会

利活用懇談会の実施状況と 議論の方向性

令和4年8月5日（金）

第1回懇談会の発言内容おさらい

【観光に関する発言】

- ・一般の人や観光客のために、東北中央道のイメージが出来るように愛称をつけたらどうか。
- ・東北中央道の沿線道の駅や観光スポットのスタンプラリーに力を入れ、地域間交流人口の拡大を図る。
- ・県や旅行会社とタイアップした旅行プランの立案・提供といった広域連携を考えたい。
- ・近隣道の駅やサービスエリア等における観光案内ブースの設置や物産展の開催について情報発信していく。
- ・相馬港へのクルーズ船寄港の誘致を関係機関と連携して進めたい。
- ・ドライブマップを広域的に配布してPRする。
- ・東北中央道沿線の商工会議所との連携を強化し、ネットワークを活かした地域づくりの推進・経済連携・広域観光の形成に取り組む事が必要。
- ・道の駅ふくしまを活用した連携施策が重要。
- ・仙台空港をゲートウェイとして、東北中央道沿線地域を含めた南東北エリアでインバウンドの受入体制を整え、連携して魅力ある地域していきたい。

【医療に関する発言】

- ・霊山ICから福島医大までの道路整備が大事であると考えている。
- ・東北中央道開通により医療偏在の緩和に繋がるのではないかと。

第1回懇談会の発言内容おさらい

【産業・物流に関する発言】

- ・東北中央道を利活用するため、大笹生ICにアクセス道路の整備を進めている。
- ・大笹生IC工業団地の分譲を拡張していき、今後PRをしていく。
- ・サーフィンに適した地域資源を組み合わせる事で、移住・定住の促進に取り組んでいる。
- ・東北中央道を利用し、浜通りや山形など遠方まで特産品の販路が拡大し、物流も活性化すると考えられる。
- ・新たな産業団地の確保に向けた検討・取り組みを進めていく。
- ・港湾施設の拡充や新規整備の検討等、相馬港の整備を通じて地域活性化を支える。
- ・沿線の産業団地などの分譲地がすぐに完了するなど、開通の効果を体感している。

【防災に関する発言】

- ・国道349号の整備が進めば、迂回ルートがさらに補完される。今後もより強いネットワークづくりをお願いしたい。

【その他に関する発言】

- ・福島県や東北中央道の沿線自治体で協力・連携出来る事をそれぞれ進めていく。
- ・東北中央道のIC付近に住宅団地を整備している。
- ・東北中央道開通によって、復興の作業が安全かつ効果的に行われている。

第1回利活用懇談会の発言内容ポイントと議論の方向性（案）

